

名古屋能楽堂

レクチャー公演

七月定例公演

能・狂言が映す“時代” — 改元に寄せて —

時代に挑んだ男たちの隠れ里、吉野
能<二人静>で静が慕い続ける源義経。静の語りの中で触れられる
「壬申の乱」の覇者・天武天皇。そして能が作られた時代、
まだ存在した南朝を築いた後醍醐天皇。彼らはみな吉野に逃れ、
再起を図ったのだった…。吉野をはじめ山岳で修行する
山伏が登場する狂言<蝸牛>とともに。

能
「二人静」
ふたりしずか

狂言

「蝸牛」(和泉流)
シテ 松田 高義

能

「二人静」(金春流)
シテ 本田 布由樹
ツレ 本田 芳樹

2019年

7月6日(土)

14:00開演 (13:30開場)

能と狂言の前にレクチャー解説があります

指定席 ……………3,100円
自由席(一般) ……2,100円
自由席(学生) ……1,100円

※当日券は自由席のみ500円増となります。

4月26日(金)より
前売券発売

撮影:国東薫

前ご来場の方に抽選で素敵なプレゼント!

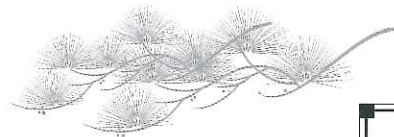
本公演にご来場の方の中から抽選で10名様に能楽グッズをプレゼントします。
※ご入場の際にお配りするパンフレットに応募券[ご応募の締切は休憩終了まで]が入っておりますのでご確認ください。

●イヤホンガイド 演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。(日本語/英語)
Noh performance Guide/Rent-free for a wireless headset (Japanese/English)

名古屋能楽堂 七月定例公演

〈レクチャー公演〉

*七月定例公演は「レクチャー公演」として通常の定例公演に比べ低料金で、解説付きとなっています。



◇レクチャー解説…午後二時から十五分
『蝸牛』について 野村又三郎

狂言 蝸牛 (和泉流)

シテ 山伏 松田 高義
アト 主 伴野 俊彦
アト 太郎冠者 藤波 徹
後見 野村又三郎

休養十五分

◇レクチャー解説…休憩終了後十五分
『二人静』について 鬼頭 尚久

能 二人静 (金春流)

前シテ 里女 本田 布由樹
後シテ 静の霊 本田 布由樹
ツレ 菜摘女 本田 芳樹
ワキ 勝手明神の神職 橋本 宰
アイ 神職の従者 野村又三郎

笛 竹市 学
小鼓 船戸 昭弘
大鼓 河村真之介
後見 金春 穂高
安達 裕香
佐藤 俊之
本田 光洋
鬼頭 尚久
前田 登
小島 芳樹
小野瀬 狂樹

(午後四時三十分頃終了予定)

【イヤホンガイド】

◆能「二人静」

日本語「三苦 佳子(愛知産業大学短期大学非常勤講師)
英語 藤江さお里(通訳ガイド)

都合により出演者が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

◇狂言解説「蝸牛」(かぎゆづ)

祖父に更なる長生きをしてもらおうと考えた主人は、長寿の薬にもなるという「蝸牛」を捕ってくるよう、太郎冠者(右使)に命じます。

蝸牛がどのようなものかも知らない太郎冠者は、藪に行けば必ず見付かるもので腰に貝を付けているなどと教えられ、言われるが儘に出掛けて捜索を始めます。藪には長旅で疲れ果てた山伏が寝ていて、太郎冠者は蝸牛を探し当てたと思ひ込み……。かたつむりの特徴に悉く合致するため、山伏を蝸牛と取り違えるという一見突飛にも思える演出ですが、そこは狂言のこと、感しさせる余地のない可笑しみを誘います。

流派によっては主従の人物設定が親子や兄弟となったり、また終曲部にも相違が見られる作品でもあります。

(井上松次郎)

◇能解説「二人静」(ふたりしずか)

正月七日。吉野山の勝手明神の神職は若菜摘みに出た女性らがなかなか戻らないので、従者に早く帰れと伝えるよう命じる。一方、まだ雪の残る野原で若菜を摘んでいた女性は、「私のことを吊ってほしい」と頼む不思議な女と出会う。名を名乗らず「もし疑う人があれば、その時はあなたに憑りつき名乗ろう」とかき消えてしまう。ようやく戻った女性を神職は叱るが、事情を聞くうちに女性に霊が乗りうつる。義経の身内の者としか名乗らない霊に神職は武将たちの名を挙げるが、女はそれぞれの逸話を語るもそれではないと言ふ。問答の後には静御前と名乗った霊に、神職は静ならば舞を舞ってみせよと告げる。宝蔵よりかつて自分が使用した舞の衣装を持って来させ、菜摘女に寄り添うように静の霊は舞い始める。厳しい逃避行の様子。吉野山の義経との別れ。頼朝の前への舞。

「しずやしず しずのおだまき 繰り返し 昔を今に なすよしもがな」

何度も糸を巻いた字環(おだまき)のように、義経といた頃を繰り返せたら……。武士の世に翻弄された身を嘆き、なお回向を頼むのであった。

シテとツレの相舞が特徴です。序盤の乙女の若菜摘み、中盤でのワキとのやり取りから豹変する一瞬も聞きどころ。義経と静は昔から人気のふたりですが、どこかやるせない漂う名曲です。

(本田布由樹)

七月定例公演事前学習講座

6月22日(土) 14:00~15:30

[受講チケット] 七月定例公演とのセット券500円、一般券1,000円 ほか

◆能「二人静」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

チケット料金(税込) *前売券発売日 2019年4月26日(金)

	指定 Reserved	自由 Non reserved plus ¥500 on the day	
		一般 Adult	学生 Student under 25 years old
前売 Advance sale	3,100円	2,100円	1,100円

*当日券は自由席のみ500円増となります。*学生券は25歳以下を対象とします。

*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は1割引(学生券をのぞく)
(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ。各割引の併用はできません。)

*上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外のご遠慮下さい。*未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂/TEL.052-231-0088
名古屋市文化振興事業団チケットガイド/TEL.052-249-9387
(平日9:00~17:00/チケット郵送可)
名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。

(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)

栄プレチケ92/TEL.052-953-0777

チケットぴあ/TEL.0570-02-9999(Pコード493-689)

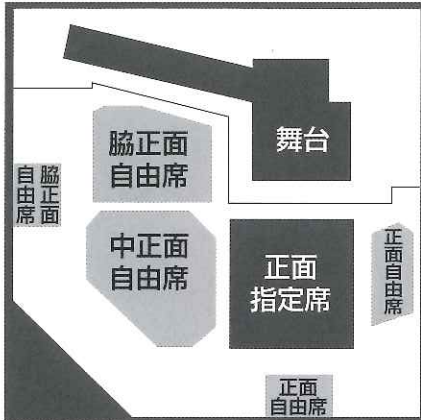
*お近くのセブンイレブン、サークルKサンクスでもお買い求めいただけます。

*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも1割引きます。(名古屋能楽堂取扱いのみ)

To visitors who bring their passports or the likes which prove respective foreign nationalities, advance/day tickets are available at a 10% discount. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ/名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756 <http://www.bunka758.or.jp>

このチラシは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



*地下鉄・バス等公共交通機関をご利用ください。

ワクワク・ドキドキ特典がいっぱい
「友の会」会員募集中!

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385